

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第2区分
【発行日】平成17年2月24日(2005.2.24)

【公開番号】特開2001-255553(P2001-255553A)

【公開日】平成13年9月21日(2001.9.21)

【出願番号】特願2001-32550(P2001-32550)

【国際特許分類第7版】

G 0 2 F 1/1345

G 0 2 F 1/1333

G 0 9 F 9/30

【F I】

G 0 2 F 1/1345

G 0 2 F 1/1333 5 0 5

G 0 9 F 9/30 3 4 8 A

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月18日(2004.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

液晶を挟んで互いに対向する一対の基板と、
前記一対の基板のうち一方の基板に設けられ、他方の基板の外側へ張り出す張り出し部と、
前記一方の基板上に、前記液晶を封止するシール材を越えて前記張り出し部に形成されたアルミニウム電極と、
駆動用ICを有し、前記アルミニウム電極と接着剤を介して前記駆動用ICと電氣的に接続されるベース基板と、
前記シール材を越えて前記アルミニウム電極を覆うオーバーコート層と、を備えることを特徴とする液晶装置。

【請求項2】

前記一対の基板の端部と前記ベース基板の端部との間に前記アルミニウム電極を覆うように設けられたモールド材を備えることを特徴とする請求項1に記載の液晶装置。

【請求項3】

前記ベース基板の端部は、前記アルミニウム電極に重なるように配置されることを特徴とする請求項1または2に記載の液晶装置。

【請求項4】

前記ベース基板の端部は、前記アルミニウム電極の端部と一致することを特徴とする請求項1または2に記載の液晶装置。

【請求項5】

液晶を挟んで互いに対向する一対の基板と、
前記一対の基板のうち一方の基板に設けられ、他方の基板の外側へ張り出す張り出し部と、
前記他方の基板の張り出し部に設けられた駆動ICと、
前記他方の基板上に、前記液晶を封止するシール材を越えて前記張り出し部に形成され、前記駆動ICに電氣的に接続されるアルミニウム電極と、

前記シール材を越えて前記アルミニウム電極を覆うオーバーコート層と、を備えることを特徴とする液晶装置。

【請求項 6】

液晶を挟んで互いに対向するとともに対向側に電極が設けられた一对の基板を有する液晶装置において、

一方の前記基板が他方の前記基板との対向位置から外側へ張り出してなる張り出し部に設けられた駆動用 I C と、

前記張り出し部の端部に設けられ、前記駆動用 I C に接続された外部との接続端子群と、前記一方の基板上に設けられ、前記駆動用 I C と前記他方の基板に設けられた電極とを接続するアルミニウム電極と、

前記一方の基板上に設けられたオーバーコート層と、を備え、

前記一方の基板に設けられた電極は、前記一方の基板と前記他方の基板との対向位置から前記張り出し部に引き延ばされて前記駆動用 I C と接続されており、

前記アルミニウム電極と前記他方の基板に設けられた電極とは、前記張り出し部に隣接する領域において電氣的に接続されており、

前記オーバーコート層は、前記接続端子群、前記一方の基板に設けられた電極及び前記アルミニウム電極が前記駆動用 I C と接続される領域と、前記アルミニウム電極及び前記他方の基板に設けられた電極が接続される領域とを除く領域において前記対向位置から前記張り出し部まで連続して設けられ、前記一方の基板に設けられた電極と前記アルミニウム電極の両方を覆っていることを特徴とする液晶装置。

【請求項 7】

前記一方の基板に設けられた電極はアルミニウムにより構成され、前記アルミニウム電極と同一層として設けられてなることを特徴とする請求項 6 に記載の液晶装置。

【請求項 8】

前記オーバーコート層は、ゾルゲル反応により形成されてなることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の液晶装置。

【請求項 9】

画像を表示するための手段として請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載の液晶装置を具備することを特徴とする電子機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

本発明の液晶装置は、液晶を挟んで互いに対向する一对の基板と、前記一对の基板のうちの一方の基板に設けられ、他方の基板の外側へ張り出す張り出し部と、前記一方の基板上に、前記液晶を封止するシール材を越えて前記張り出し部に形成されたアルミニウム電極と、駆動用 I C を有し、前記アルミニウム電極と接着剤を介して前記駆動用 I C と電氣的に接続されるベース基板と、前記シール材を越えて前記アルミニウム電極を覆うオーバーコート層と、を備えることを特徴とする。

また、本発明の液晶装置は、液晶を挟んで互いに対向する一对の基板と、前記一对の基板のうちの一方の基板に設けられ、他方の基板の外側へ張り出す張り出し部と、前記他方の基板の張り出し部に設けられた駆動 I C と、前記他方の基板上に、前記液晶を封止するシール材を越えて前記張り出し部に形成され、前記駆動 I C に電氣的に接続されるアルミニウム電極と、前記シール材を越えて前記アルミニウム電極を覆うオーバーコート層と、を備えることを特徴とする。

また、本発明の液晶装置は、液晶を挟んで互いに対向するとともに対向側に電極が設けられた一对の基板を有する液晶装置において、一方の前記基板が他方の前記基板との対向位

置から外側へ張り出してなる張り出し部に設けられた駆動用 I C と、前記張り出し部の端部に設けられ、前記駆動用 I C に接続された外部との接続端子群と、前記一方の基板上に設けられ、前記駆動用 I C と前記他方の基板に設けられた電極とを接続するアルミニウム電極と、前記一方の基板上に設けられたオーバーコート層とを備え、前記一方の基板に設けられた電極は、前記一方の基板と前記他方の基板との対向位置から前記張り出し部に引き延ばされて前記駆動用 I C と接続されており、前記アルミニウム電極と前記他方の基板に設けられた電極とは、前記張り出し部に隣接する領域において電氣的に接続されており、前記オーバーコート層は、前記接続端子群、前記一方の基板に設けられた電極及び前記アルミニウム電極が前記駆動用 I C と接続される領域と、前記アルミニウム電極及び前記他方の基板に設けられた電極が接続される領域とを除く領域において前記対向位置から前記張り出し部まで連続して設けられ、前記一方の基板に設けられた電極と前記アルミニウム電極の両方を覆っていることを特徴とする。